

2007年6月(先月の日本重大ニュース)

9条は「平和に貢献」78%

憲法第9条が日本の平和に「役立ってきた」と評価する人が78%であることが朝日新聞社の全国世論調査でわかった。憲法改正が必要と思う人は58%にのぼるが、理由は「新しい権利や制度を盛り込む」が8割で、自衛隊を「自衛軍に変えるべきだ」は18%にとどまっている。(2日)

子どもの数26年連続減

総務省がまとめた4月1日現在の15歳未満の子どもの数は1738万人(男子891万人、女子847万人)で、前年より14万人減り、26年連続の減少になった。総人口に占める割合も13.6%(前年比0.1ポイント減)と33年連続で低下。(5日)

小学生、漢字書くのは苦手

日本教育技術学会が04年、全国の公立約480校、3万8000人の小2~中1生を対象に、前の学年で習った漢字の「読み」「書き」が身についているか調査。「読み」の平均正答率は各学年とも9割を超えたが、「書き」の正答率は学年が進むほど下がり、1年生で習う漢字は89%、5、6年生はともに66%だった。高学年ほど、宿題でなく授業で勉強したクラスの平均点が高い傾向が出た。(7日)

大学院へ飛び入学急増

大学3年から大学院への飛び入学が急増していることが文部科学省のまとめでわかった。大学院間の競争が激しくなる中、優秀な学生を囲い込もうと、89年の制度改革で可能になった大学院への飛び入学は05年度は83校が378人を受け入れ、38校170人だった03年度と比べて校数、人数とも2倍強に達した。一方、高校2年生から大学への飛び入学は受け入れ態勢づくりに手間がかかることもあり、広がっていない。(14日)

タミフル以外でも異常行動

厚生労働省は、タミフル以外のインフルエンザ治療薬であるザナミビル(商品名リレンザ)とアマンタジン(同シンメトレル)についても、服用後に異常行動が計16件起きていたことを明らかにした。シンメトレルでは服用後の2人の死亡が報告された。(14日)

やせてる子が急増

子どもの肥満傾向は変わらない一方、やせている子どもが増えたことが、厚生労働省の05年の国民健康・栄養調査でわかった。小中学生を対象に、身長に係数をかけた標準体重と実測体重から肥満度を算出。「普通」の体形を維持している男子は57.0%、女子は56.6%と6割を割り込み、「肥満」「太りぎみ」の合計は男子22.6%、女子25.4%で1993年と比べ、ほぼ横ばいだったが、「やせすぎ」「やせぎみ」の合計は男子が20.3%、女子が18.1%で、それぞれ4.0(ポイント)と3.1(ポイント)増だった。同省は「食生活の乱れが影響しているのではないか」とみている。(16日)

教育3法案成立へ

安倍首相が今国会の最重要法案の一つと位置づける政府の教育関連3法案が、衆院本会議で自民、公明両与党の賛成多数で可決された。与党側は6月23日までの今国会での成立をめざす。(18日)